

バイオを知る

くらしとバイオ LETTER 2

NPO 法人 くらしとバイオプラザ 21

2012年4月1日号

活動報告・取材記事

【寄稿】レギュラトリーサイエンスに寄せる期待

慶應義塾大学薬学部レギュラトリーサイエンス講座 教授 黒川 達夫先生（くらしとバイオプラザ 21 理事）



近ごろ良くレギュラトリーサイエンスという言葉を聞くようになりました。科学技術は進歩が早く、またその効用や安全性の面から日々の生活や環境などに新たな課題を投げかけることもあります。このような性質をもった科学技術やその成果をどう社会と調和させていくか、これがこの新しいサイエンスのテーマだということです。バイオ技術やその技術を応用した製品は、言うまでもなく日進月歩の科学技術の成果であり、レギュラトリーサイエンスの考え方方が役立つ領域となります。さらに考えれば科学技術と社会の調和は、消費資材や情報サービスなど、身の回りにある財貨サービス全てに重要な課題であり、レギュラトリーサイエンスの視野の中に入るのでないかと思えるほどです。

最近のレギュラトリーサイエンスの議論には、よく見ると二つの働きかけや作用があることが分かります。一つは科学技術の安全性をめぐる側面について、もっと知りたい、確保したいという動きと、そのさらに先にある科学技術の成果などを最終的に受け入れ評価するのは消費者や国民だという認識です。国民一人一人が調和の中身や是非を理解し、決定する力を持つよう期待され、持ちたいと思う方々が増えたという事実です。これは医療におけるインフォームド・コンセントの普及や行政の情報開示の努力などに現れています。特定の権威や機関が安全であると言うだけでは不十分で、消費サイドが社会としてその科学技術を受け入れるか否か、これが決定的な影響を与えるということです。

私も出来たばかりのレギュラトリーサイエンス講座（薬学部）で教育や研究をしていますが、やはりこの視点が欠かせないものとなっています。このような新たな動きが期待される効用を生み出すには、これからも次々と出現する新しい科学技術や、既に利用されている成果などについての分かりやすい説明や、消費者個人レベルの、しかも自らの考察による納得などが重要であり、「くらしとバイオ」の使命や仕事も重要性を増していくのではないかと思われます。ユニークな役割に改めて責任を覚える毎日です。



くらしとバイオプラザ 21 定例総会 10周年記念講演のご案内

2012年5月17日(木) 15:30~16:30(予定) 於 ホテル銀座ラフィナート
「人は何故がんになるのか～がんにならないために、なっても早く治すために大事なこと」
日本学術振興会学術システム研究センター相談役 黒木 登志夫 先生

黒木先生は、岐阜県研究開発財団顧問や東京大学名誉教授(医科学研究所)、岐阜大学名誉教授(学長)も兼ねておられて、著書に、中公新書4部作となる、『がん遺伝子の発見』(1996)、『健康・老化・寿命』(2007)、『落下傘学長奮闘記』(ラクレ、2009)、『知的文章とプレゼンテーション』(2011)等があります。

<参加お申込み/お問い合わせ> NPO 法人 くらしとバイオプラザ 21
Tel 03-5651-5810 Fax 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

メディアの方に知りたいこと～食品添加物～冊子が出来ました

メディアの方に知りたいこと
～食品添加物～

2012年3月



NPO法人 くらしとバイオフュザ21

2011年3月に発行した、『メディアの方に知りたいこと～遺伝子組換え作物・食品』に続くものです。今回は、食品添加物についてです。食品添加物に関する報道のお役に立てたり、消費者の求めに応えたりすることができましたら幸いです。

近いうちにダウンロードが可能となります。また、くらしとバイオフュザ21のホームページ上でお知らせいたします。

メディアの方はもちろんのこと、セミナーや学習会、講義や授業の資料など、広くご活用いただければと思います。

2011年10月1日 第6回ヒトゲノムを使った実験教室「私たちのDNA」



東京農工大学遺伝子実験施設で、講師に医学博士の大藤道衛さんをお迎えし、ヒトゲノムを使う実験教室「私たちのDNA」を行いました。第6回となる今年は、アルコール代謝に関する遺伝子ALDH2の検出を今までと別な方法で行ったり、協賛のNPO個人遺伝情報取扱協議会理事長堤正好さんの講演をいただくなど、今までとは異なる進め方で行いました。

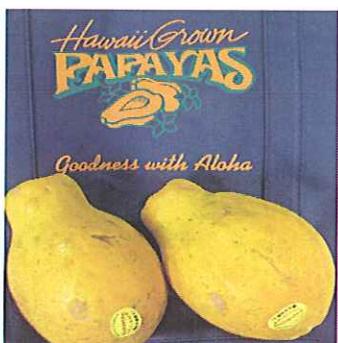
2012年2月13日コンシューマーズカフェ 食品安全委員会委員長 小泉直子さん



薬の適正使用協議会会議室にて、第3回コンシューマーズカフェを開き、リスクコミュニケーションについてお話をいただきました。同委員会事務局の方も交えて話し合いをいたしました。「医療の現場では、Informed Consentが浸透しているが、食品は薬よりその内容がわかりやすいにもかかわらず、与えられた情報を理解しようとする努力が少なく、食品こそ、情報をしっかりと理解し、納得した上で選んでいただきたい。すなわち Informed Choiceが重要であり、そのためには、情報提供は十分に行うべき」と、結ばれました。

2012年3月9日茅場町カフェ 「ウイルスからハワイのパパイヤ産業を救った遺伝子組換えパパイヤ」

アメリカ大使館農務部 佐藤 卓さん



2007年3月4日、雪の舞う日に第1回バイオカフェを開きました。そのときのテーマは、「ウイルス被害からハワイのパパイヤ産業を救ったウイルス耐性遺伝子組換えパパイヤ"レインボー"」のお話でした。あれから7年、ついにバイオカフェでパパイヤのお話をうかがいながら、レインボーの試食をするという願いがかないました。バイオカフェも149回目になりました。2011年12月1日、輸入解禁後、レインボーの売上はまあまあだそうです。おいしいパパイヤが遺伝子組換え食品への理解を広めることが期待されます。



2011年9月9日 茅場町カフェ
くらしとバイオプラザ'21専務理事 真山武志
「水の生理学～カラダにとっての水の役割」
水のバイオカフェシリーズ第2回は人の体がテーマでした。



10月14日 茅場町カフェ
株明治お客様相談部 梶 瞳さん
「チョコレートの秘密～ポリフェノールの科学」
おいしいチョコレートを試食しながら、話しがはずみました。



11月11日 茅場町カフェ
産業技術総合研究機構食品総合研究所 鈴木彌生子さん
「水・食のふるさとを力がける～安定同位体比分析の利用」
ミネラルウォーターの水源の特定できるようになるかもしれません。



2012年1月13日 くらしとバイオプラザ'21事務所
畜産草地研究所 渡邊伸也さん
「体細胞クローン牛について」
焼き肉をいただきながらのバイオカフェになりました。



2月10日 茅場町カフェ
筑波大学教授 渡辺政隆さん「虹と雪のバラード」
土井正位から中谷宇吉郎をめぐるサイエンスアートのお話でした。

バイオカフェからのお知らせ
バイオカフェは事前申込みは不要です。どうぞお誘い合わせのうえ、お気楽においで下さい
音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。
(会場により事前申込みが必要であったり、参加費が異なったりします。詳細はHP
<http://www.life-bio.or.jp/biocafe/>をご覧ください)

その他 活動報告 2011年9月～2012年3月

- 9月10日 観環居カフェ(横浜) 「バイオカフェ～くすりのできるまで」
- 9月24日 三鷹星と風のカフェ 親子パッ付実験教室 「キッチンサイエンス—カラーマジック」
- 10月1日 三鷹科学縁日 実験ブースを出展 三鷹市民協働センター
- 10月2日 親子パッ付実験教室 「水と油の仲良しケーキ」 京葉が市川ショールーム
- 10月23日 「キッチンサイエンス」 名古屋大学社会貢献人材育成本部サイエンスコミュニケーション推進室
- 10月28日 三鷹星と風のカフェ 親子パッ付実験教室 「キッチンサイエンス—水と油の仲良しケーキ」
- 11月19日 一般市民向けバイオ実験講座

今後の活動予定 4月～ <http://www.life-bio.or.jp/biocafe/index.html>



- バイオカフェ
- 4月13日 茅場町カフェ サン茶房 「免疫抑制剤について～体を守る仕組みが体を攻める時」
- 5月11日 茅場町カフェ サン茶房 「果実を大きくする“植物ホルモン”的魔法」
- 5月18日 東京テクニカルカレッジ 「植物と微生物における共生の進化」
- 6月9日 茅場町カフェ サン茶房 「ステロイド剤との上手な付き合い方」
- この他にも、実験教室や拡大談話会(コンシェーマーズカフェ)も開きます。参加をお待ちしています。
詳細は、ホームページをご覧ください。



取材報告 2011年9月～2012年2月

- 9月8日 「ウイルス抵抗性バイオケニア『レインボー』の開発物語と日本における表示について」 於 東京アメリカンセンター
主催 米国大使館農務部主催
- 9月18日 教育目的遺伝子組換え実験支援者グループ 第8回日本植物学会賞特別賞受賞式
於 東京大学駒場キャンパス
- 11月21日 「『放射性物質の食品健康影響評価』と暫定基準の見直しについて」 於 ペルサール汐留
共催 食の安全・安心財団・食の信頼向上をめざす会
- 2012年1月21日 日本サイエンスコミュニケーション協会設立記念シンポジウム 於 福武ホール

講師派遣

- 1) 食品衛生学会 講演 2011年9月29日
- 2) 神奈川工科大学講義「現代生命科学持論」2011年9月～2012年1月
- 3) 三重大学講義「遺伝子工学と社会」2011年12月12日、2012年1月16日
- 4) 名古屋大学社会貢献人材育成本部「キッズサイエンスキッキン カガクをおいしく楽しもう！」2011年10月23日
- 5) 東松山市きらきら市民大学講演 2011年11月2日
- 6) 一般財団法人 バイオインダストリー協会 未来バイオ コーディネーター 2011年11月8日
- 7) 独立行政法人科学技術振興機構 サイエンスアゴラ賞審査委員 2011年11月18日～2012年3月31日
- 8) 神奈川工科大学講義「キャリアデザイン」2011年12月2日
- 9) 第22回京都植物バイオテクノロジーソン講演 2011年12月17日
- 10) 東京大学 講義「技術倫理」2012年1月6日
- 11) 農業生物資源研究所講演 2012年1月18日

事務局より



入会案内

バイオに興味のある方、意見をお持ちの方は協力会員に入りませんか!!
当NPOが主催するイベントの案内、発行図書などをお送りします。一緒に活動しましょう!!年会費は一口2,000円です。お問い合わせは、下記の電話、FAX、Eメールまでお願いします。

編集後記

2011年度も盡事に終わろうとしています。被災地の復興、進まない景 quo 復興、今年も厳しい1年でした。そんな中、私たちのように小さな事務局で多くのイベントやコミュニケーションの場を企画・実施することができたのは、皆様のご支援、お励ましのお陰です。ありがとうございました。感謝の意を持ちをこめて、この半年の活動を振り返り、ニュースレター2号をつくりました。2012年度は、拡大講話会（コンシユーマーズカフェ）、日本サイエンスコミュニケーション協会（JASC）などで広げた連携をさら発展させたり、市民のリテラシー向上、特にバイオを苦手だと思っていらっしゃる方へのアプローチに挑戦したいと思います。このニュースレターをご覧いただき、お気づきのことをお知らせいただくなど、これからも、ご助言、応援をよろしくお願いいたします。

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

編集 佐々義子・二瓶美郷

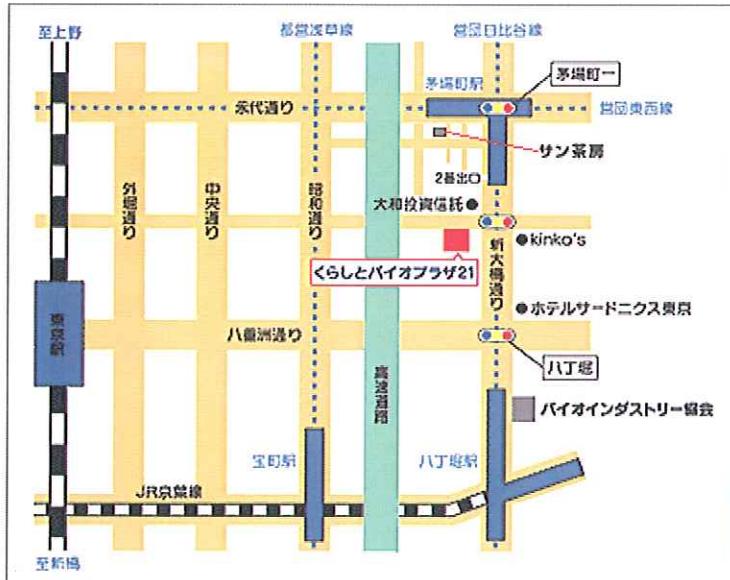
カット 中村典子

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階

電話:03-5651-5810 FAX:03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp



●地下鉄東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分